

相談体制、離職問題など熱弁

5グループが企画プレゼン

桑野麻衣氏が講演

人材育成委員会が主管する今年

度第3回の「女性活躍推進フォーラムin九州」が12月14日、福岡市の遊技会館会議室で開かれた。前回（9月14日）に引き続き九州、中国の企業12社（会員11社、非会員1社）から女性社員18人が参加した。今回は今年度の最終回で、5チームが「キャリアアップランニング」のテ

ーマで約半年間練った企画のプレゼンテーションを行い、女性社員を派遣した企業の人事、総務などの担当者が招かれて成果を確認した。

まず、地元を代表して、福山裕

治九州支部長があいさつした。続く実務講座はマナー、コミュニケーションの講師、桑野麻衣氏が、

「人材育成術セミナー」上手な褒め方・叱り方」と題し、日常業

務の中で部下への声かけポイント」と効果的な褒め方・叱り方

を講演した。

桑野氏は、褒められて伸びるタイプと叱られて伸びるタイプがあるとした上で、「褒める（認める）・叱る（指導する）」の目的は、期待感と信頼感で相手に自信を与えること。タイミングが重要で、必ず

その場で（またはその日のうちに）褒めるか叱るかすること」と強調した。シチュエーション別、タイプ別の褒め方・叱り方を解説し、

「褒める・叱る」は相手への最高のギフト」と結んだ。

最優秀賞はEチーム

企画のプレゼンテーションは各

チームが5〜9分間行い、女性社員たち自身、派遣した企業の担当者、取材の業界誌記者、人材育成委員会委員など、その場にいた全員が投票に参加した結果、Eチームの「産休・育休・介護と仕事の両立支援」が最優秀賞に選ばれた。

【Eチームの企画の概要】目的は、ライフスタイルの変化によって起こる離職を防止し、長く働ける職場を構築すること。背景として、社員、管理者ともに「産休・育休・親の介護」と仕事との両立支援への理解度が低く、イメージを持っておらず、相談体制も不十分であることを挙げた。企画のスケジュールは、①管理職を含めた全社員をターゲットに実態把握のためのアンケート調査を実施 ②リーフ



講演する桑野氏▶



桑野氏（右端）の講演を聴く女性社員たち



練りに練ってきた企画の最後の仕上げ



Eチームの表彰。左から前田竜哉人材育成委員長、直井志保さん、白石有夏さん、海瀬達司委員

レット、ガイドブックなどにより両立支援制度を周知浸透させる

③管理職を含めた社内研修の実施——としている。効果として、両立支援について相談しやすい職場風土が形成されると予測している。コストはリーフレット、ガイドブックの作成費と研修費用。

佐藤広報調査副委員長が講評

広報調査委員会副委員長の佐藤聖子氏が講評を行った。佐藤氏は「5つの企画はどれも根拠がしっかりとしていた。皆さんが日頃職場で直に感じている問題を取り上げていたと思う。とくに離職率の問題は5つの企画の視点に共通してあった。また、相談体制を重視して、社員と会社との信頼の双方向性を確立しようとしていることも共通してうかがわれ、興味深かった」と述べた。

最後に懇親会を開き、業種や企業の垣根を越えて親交を深めた。

各チームの企画と参加者

(敬称略、(株略))

Aチーム「自己啓発アイデアカード導入」
 上田美香(富士興業)、袖智美(クレイン)、石橋亜紀(タイラベストビート)、中島杏奈(夢コーポレー

ション)

Bチーム「全従業員のストレス度診断」
 百崎千夏(新富商事)、亀田美紀(玉屋)、関根友(テンガイ)、塚腰佳子(フェイスタグループ)

Cチーム「やりがいある職場環境をつくる」
 藤原麻奈美(テンガイ)、渡邊理江(西の丸)、琵琶朝美(マルハン)、高木麻美(ユーコー)

Dチーム「子育てしやすい会社へ」
 竹下くるみ(富士興業)、田中留美(玉屋)、齋藤美枝(西の丸)、金子結(プロバ)

Eチーム「産休・育休・介護と仕事の両立支援」
 直井志保(富士興業)、白石有夏(タイラベストビート)

広報調査委員会

12月20日
 本部会議室
 出席委員等18人

回答回収の途中経過報告 「17ファンアンケート調査」

昨年11月下旬から12月上旬にかけて全国の会員ホール等の協力で行われた「17パチンコ・パチスロファンアンケート調査」の途中経過が報告された。12月20日時点で134ホールから2307サンプルを回収しており、前回実績(127ホール、1242サンプル)より



広報調査委員会で「超パチンコ&パチスロフェスティバル」を説明する内藤裕人遊技機委員長(正面左から2人目)とスタッフ。その左は福山裕治広報調査委員長

多めとなっている。集計を1月前半に行い、1月後半から2月いっぱい进行分析、報告書作成・修正に充て、3月15日の第6回定例理事会で結果を公表する予定となっている。

今春開催を予定している広報担当フォーラムの内容、日程などを協議した。

4月28、29日の「ニコニコ超会議(幕張メッセ)に出席する日遊協ブース「超パチンコ&パチスロフェスティバル@ニコニコ超会議2018(仮称)」について、主管する遊技機委員会の内藤裕人委員長とイベントのスタッフがオプザー

バーで出席し、ニコ超への出展の経緯、今回の企画の内容などを説明して、情報を共有した。これは委員会同士の縦割り傾向を改め、団体(日遊協)として連携を強めようという趣旨。同様の趣旨では現在、広報調査委員会と人材育成委員会とが協働して行っている「女性活躍推進アンケート」調査がある。同調査は昨年2月(2016年度)、同年9月(17年度)の2回行われて、結果は本誌の昨年5、12月号に掲載された。

人材育成委員会

12月7日
 本部会議室
 出席委員等9人

評価指標を最終決定 女性活躍推進フォーラム

12月14日に開かれる「第3回女性活躍推進フォーラムin九州」で、5グループに分かれ「キャリアアップランニング」のテーマで行われるプレゼンテーションの評価指標を最終決定した。

11月22日に「働き方改革」をテーマに行われた「第14回人材育成フォーラム」の結果(本誌12月号に掲載)が報告され、2018年度の実施方法等について協議した。